X73

1ch H.A + EQ

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

VINTECH AUDIO　X73

MIC PREAMP with EQUALIZER

このたびは VINTECH AUDIO DUAL72 をお買い求めいただきありがとうございます。

このたびは VINTECH AUDIO X73 をお買い求めいただきありがとうございます。

オリジナルNEVE8000 シリーズに装備されていたNEVE1073 モジュールの素晴らしい音質は、現在のミュージック・インダストリーにおいても憧れであり、また多くのセッションにおいて使用されています。

あの NEVE1073 のオリジナルサーキットは絶妙に再現され、トランスフォーマー、スチロール・コンデンサー、ゴールドコンタクトのロータリースイッチなどの細部のパーツまでもが全て最良の状態でレプリカされました。
X73 サウンドを決定付けているクラスAのアウトプット回路にはオリジナル同様の 2N3055 NPN パワートランジスタが使用され、NEVEサウンドの再現性に貢献しています。20 ポジションのステップゲインが採用されている H.A 部は中低域へのリッチで重厚なカラレーションとスムースな高域の素晴らしいサウンドを持ち、マイクインプット以外にもライン入力、ハイインピーダンスの楽器入力も装備しています。D.I としても、ラインドライバーとしてもこの上ないNEVEサウンドを提供いたします。
また、3 バンドEQセクションにはオリジナルNEVE１０７３の持つ周波数セレクトに加え、ミッドとハイに新たな周波数ポイントを追加。優れたセレクタブル・ローカットセクションも大きな魅力です。そのEQのカーブとサウンドは測定され、オリジナルNEVE1073が持つ素晴らしいEQセクションとほぼ完全に一致しました。

VINTECH AUDIO の X73 は新品のユニットでありながら、NEVE1073 の魅力的なサウンドを低価格、メインテナンスフリーで入手できる最高級のプロオーディオイクイップメントです。

■プリアンプセクション

X73 のプリアンプセクションではインプットレベル−80dB〜−20dB を 22 ポジション・ステップゲインで調整します。

●3 系統の入力セクション

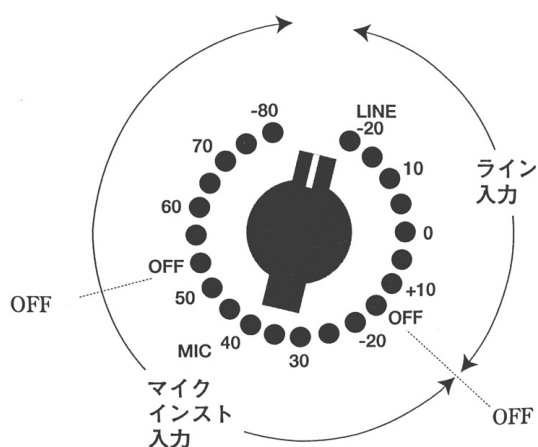
入力は 3 系統で用意されており、その内の1」系統だけにプラグイン可能です。
（X73 では入力信号の干渉を避ける為、必ず 3 系統の内の 1 系統のみに入力してください。特に INST 入力と MICROPHONE 入力に同時にプラグインした場合、音はほとんど出力されません！）

1.INST＝Hi-z（ハイインピーダンス）の D.I 入力です。楽器を直接接続出来ます。フロントパネルに配置されています。

2.LINE＝ラインレベルのソースを接続出来ます。この XLR 入力はバランスです。リアパネルに配置されています。

3.MICROPHONE＝マイクロホン接続用の XLR タイプのバランス入力です。ファンタム電源を供給する場合は、この端子に入力します。リアパネルに配置されています。

●入力信号別のゲインコントロール

X73 のゲインコントロール（赤色のノブ）は、全てインプットレベルでの表示となっております。少ない値ほどゲインは高くなりますのでご注意ください。必ず次の入力別の注意事項をお読みになってからご使用ください。

●MICROPHONE/INST 入力の場合

X73 では、入力された MICROPHONE および INST 信号はライン入力サイドの OFF ポジションからゲイン調整をスタートさせます。時計回りでゲイン増大、インプットレベルが-20db から 5dB ステップで増大していき、最大で-80dB（60dB のゲイン増大）、あと 1 ステップ進むとまた OFF ポジションとなります。必要な増幅が分かっている場合には、MIC 側にある OFF ポジションからゲイン調整をスタートすれば、より早く必要なゲインを得る事が出来ます。

（LINE 入力用のゲインポジションでは MICROPHONE/INST 入力信号はミュートされます）

●LINE 入力の場合

X73 では、LINE 入力された信号はライン入力側の OFF ポジションから反時計回りにゲインを増大させます。インプットレベルが+10dB から 5dB ステップで増大していき、最大で-20dB(30dB のゲイン増大)、あと 1 ステップ進むとまた OFF ポジションとなります。

(MICROPHONE/INST 入力用のゲインポジションでは LINE 入力信号はミュートされます)

ライン入力側の最初の OFF ポジション、または2番目の OFF ポジションから 1 ステップ進むと LINE、または MICROPHONE/INST での最大レベルとなります。周辺の機器を傷めないようにご注意ください！

■スイッチングセクション

X73フロントパネルの向かって右側のセクションです。3つ縦に並んだスイッチは共通で向かって左側(EQセクション側)がオフ、向かって右側(OUTPUTレベルメーター側)がオンになります。

1.48V コンデンサーマイクロフォンに48Vのファンタム電源を供給します。

！機器へのダメージを避ける為、ファントムパワーのオン/オフはマイクロホンとX73 を接続し、出力先のボリュームが十分に下がっている事を確認の上で行ってください。また、ケーブルを抜き差しする場合は、必ずファンタム電源をオフにしてしばらく経ってから行ってください。(ファンタム電源をオフにしてもしばらくの間は機器内にパワーが残留しています)

2. フェイズリバース（位相反転） オン位置にすると信号の位相を反転させます

3. EQ イコライザーをバイパス、または オン位置でEQをアクティブにします

■EQセクション

・Hi-EQ

シェルビングEQ。10、12、14、16kHzを16dBブースト/カット可能です。外側のノブで周波数をセレクトして、内側のノブでブーストまたはカットします。

・Mid-EQ

ピーキングEQ。10、7.2、4.8、3.2、1.6、0.7、0.36kHzを16dBブースト/カット可能です。外側のノブで周波数をセレクトして、内側のノブでブーストまたはカットします。周波数側を時計方向に回しきった所にオフポジションがあります。

・Low-EQ

ピーキングEQ。35、60、110、220Hzを16dBブースト/カット可能です。外側のノブで周波数をセレクトして、内側のノブでブーストまたはカットします。周波数側を時計方向に回しきった所にオフポジションがあります。

・Low-Cut Filter

50、80、160、300Hz をセレクトしてローカットできるハイパスフィルターです。時計方向に回しきった所にオフポジションがあります。

■OUTPUTセクション

最終出力のアウトプットボリュームです

■OUTPUT レベルメーター

出力ﾚﾍﾞﾙを -6 〜 +18dBで監視する5ポイントのLEDメーターです。